

令和6年度

横浜創英大学

[看護学部 看護学科]

## 総合型選抜入学試験(第Ⅱ期)

基礎総合

令和5年10月15日(日)

### (注意事項)

1. 「始め」の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。  
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答にはHB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後は退室できません。
7. 問題冊子と解答用紙は回収します。

受験番号

6	0					
---	---	--	--	--	--	--

氏名

--

## 問題 I

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適するものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

(読売新聞 令和5年6月4日朝刊「編集手帳」から。一部表記を改めたところがある。)

- ① 司法制度改革の理念は意義があるが、裁判記録の閲覧とはことの性質がちがひ、記録は事件解決のためにあると考えられる。
- ② 国民のための司法制度のはずであるが、重大な裁判記録の廃棄など、いまだに裁判所の感覚は社会常識と乖離したものである。
- ③ 事件の記録が廃棄されたのはやむを得ないが、記録の保管庫を拡充することにより国民の司法への信頼が取り戻される可能性がある。
- ④ 民事裁判の記録を調べたことがあるが、閲覧にメモ書きが含まれないことは知られていない制度であったので、見直す必要があると感じられる。
- ⑤ 記録の保管庫の拡充は重要であるが、より重要だったのは硬直化した法曹界を社会常識の側に引き戻すことだったはずである。

(2) 次の①～④の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣いで書きなさい。

- ① 道路整備により、国土の強靱性の向上につながる効果が期待される。
- ② 英語を流暢に話せるように一所懸命勉強をしている。
- ③ DNAは、二重螺旋構造をしている。
- ④ 将来は、医療関係の仕事に携わりたいと考えている。

(3) 次の①～④の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- ① 作業の手順を間違えて時間をロウヒしてしまった。
- ② 生命を維持する性質をコウジョウセイという。
- ③ 作品から作者のトぎ澄まされた感覚が伝わってくる。
- ④ 会議の議論がシヨウ末節の問題に入り込んだ。

(4) 次のア～オの慣用句とその意味の組合せのうち、慣用句の意味が誤っているものが二つある。誤っている記号の組合せを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア 目が点になる — 驚きあきれること
- イ 石橋を叩いて渡る — 用心の上にも用心すること
- ウ 折紙つき — 確かなものであること
- エ コロンブスの卵 — 危険なまねをすること
- オ 匙しを投げる — 後戻りができないこと

- ① ア — イ
- ② ア — エ
- ③ イ — ウ
- ④ ウ — オ
- ⑤ エ — オ

(5) 次のア～オの各文を意味の通じるように並べ替えたものとして最も適するものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア
- イ
- ウ
- エ
- オ

(林望「『時間』の作法」から。)

- ① ア → オ → ウ → エ → イ
- ② イ → ア → エ → オ → ウ
- ③ ウ → エ → ア → オ → イ
- ④ エ → イ → オ → ウ → ア
- ⑤ オ → ア → エ → イ → ウ

## 問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) ある大学の入学試験の受験者は220人で平均点は62点であった。男子の受験者の平均点は59点で女子の受験者の平均点よりも6点低かった。受験者のうち女子の人数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 80人
- ② 90人
- ③ 100人
- ④ 110人
- ⑤ 120人

(2) 縦25m、横12m、深さ1.5mのプールにちょうど半分だけ水が入っている。このプールから毎分 $3\text{ m}^3$ の水を排水してプールを空にすることにした。午後2時30分に排水を開始したとき終了予定時刻として適当なものを、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 午後3時45分
- ② 午後4時00分
- ③ 午後4時15分
- ④ 午後4時30分
- ⑤ 午後4時45分

(3) ある大学の1年次の学生が選択した教養科目を調べたところ、哲学を選択した学生が45人、哲学か法学を選択した学生が70人、法学と文学の両方を選択した学生が17人、法学だけ選択した学生は8人であった。この結果から哲学、法学、文学の3つの科目すべてを選択した学生の人数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 0人
- ② 3人
- ③ 11人
- ④ 14人
- ⑤ 18人

(4) 濃度5.5%の食塩水1200gに水を加えて、濃度1.0%の食塩水を作りたい。何gの水を加えればよいか、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 1200g
- ② 2400g
- ③ 3600g
- ④ 4800g
- ⑤ 5400g

(5) 縦72cm、横60cmの長方形のタイルをすき間なく並べて正方形を作るとき、必要なタイルの最少の枚数とそのときの正方形の一辺の長さの組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 20枚 — 240cm
- ② 30枚 — 360cm
- ③ 48枚 — 480cm
- ④ 72枚 — 600cm
- ⑤ 100枚 — 720cm

## 問題Ⅲ

設問 次の問題文及び図表1～図表3は、厚生労働省の「令和4年度厚生労働白書」から作成したものである。問題文及び図表1～図表3を見て、あとの各問いに答えなさい。

### 【問題文】

我が国の合計特殊出生率は、2005（平成17）年に1.26となり、その後、緩やかな上昇傾向にあったが、ここ数年微減傾向となっている。2021（令和3）年は1.30（概数）と依然として低い水準にあり、長期的な少子化の傾向が継続している。

また、2017（平成29）年に発表された国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」によると、現在の傾向が続けば、2065年には、我が国の人口は（ア）となり、1年間に生まれる子どもの数は現在の半分程度の約56万人となり、高齢化率は約38%に達するという厳しい見通しが示されている【図表1】。

さらに、ライフスタイルが従来とは異なるものになってきている。例えば、（イ）には50歳時の未婚割合が男性で約30%、女性では約19%になるものと見込まれている【図表2】。また、共働き世帯と専業主婦世帯（男性雇用者と無業の妻からなる世帯）とを比べると、1997（平成9）年以降は前者の数が後者の数を（ウ）【図表3】。

こうした状況に加え、多くの国民が結婚したい、子どもを産み育てたい、結婚した後も子どもを育てながら働きたいと希望しているにもかかわらず、その希望がかなえられず、結果として（エ）が進んでしまっているものと考えられる。国民が希望する結婚や出産を実現できる環境を整備することが重要である。

【図表1】日本の人口の推移

（単位：万人）

	1990年（実績）	2020年（実績）	2025年（推計）	2040年（推計）	2065年（推計）
75歳～	599（5%）	1,860（15%）	2,180（18%）	2,239（20%）	2,248（26%）
65～74歳	894（7%）	1,742（14%）	1,497（12%）	1,681（15%）	1,133（13%）
20～64歳	7,610（62%）	6,938（55%）	6,635（54%）	5,543（50%）	4,189（48%）
～19歳	3,258（26%）	2,074（16%）	1,943（16%）	1,629（15%）	1,237（14%）
総人口	12,361	12,615	12,254	11,092	8,808

（注）掲載の数値は四捨五入して記載していることから、これらの数値の四則演算結果が対応する数値と合わない場合がある。

【図表2】50歳時の未婚割合の推移

（単位：%）

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
男性	3.9	5.6	9.0	12.6	16.0	20.1	24.8	26.7	27.1	28.0	28.9	29.5
女性	4.3	4.3	5.1	5.8	7.3	10.6	14.9	17.5	18.4	18.5	18.5	18.7

（注1）2015年までは、実績値（人口統計資料集）。2020年以降は、推計値（日本の世帯数の将来推計）。

（注2）50歳時の未婚割合は、50歳時点で一度も結婚をしたことのない人の割合であり、45歳～49歳の未婚率と50歳～54歳の未婚率の平均。

【図表3】共働き等世帯数の年次推移

(単位：万世帯)

年	専業主婦世帯	共働き世帯	年	専業主婦世帯	共働き世帯	年	専業主婦世帯	共働き世帯
1980	1,114	614	1994	930	943	2008	825	1,011
1981	1,082	645	1995	955	908	2009	831	995
1982	1,096	664	1996	937	927	2010	(771)	(973)
1983	1,038	708	1997	921	949	2011	(773)	(987)
1984	1,051	721	1998	889	956	2012	787	1,054
1985	952	722	1999	912	929	2013	745	1,065
1986	952	720	2000	916	942	2014	720	1,077
1987	933	748	2001	890	951	2015	687	1,114
1988	946	771	2002	894	951	2016	664	1,129
1989	930	783	2003	870	949	2017	641	1,188
1990	897	823	2004	875	961	2018	606	1,219
1991	888	877	2005	863	988	2019	582	1,245
1992	903	914	2006	854	977	2020	571	1,240
1993	915	929	2007	851	1,013	2021	566	1,247

(注) 2010年及び2011年の( )内の実数は、岩手県、宮城県、福島県を除く全国の結果。

- (1) 問題文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句として最も適したものを、次の語群A～Hから選び、記号で答えなさい。

- <語群>
- |           |            |
|-----------|------------|
| A. 上回っている | E. 8,808万人 |
| B. 下回っている | F. 2,248万人 |
| C. 高齢化    | G. 2025年   |
| D. 少子化    | H. 2040年   |

- (2) 次の(ア)～(オ)の文について、問題文及び図表1～図表3から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 日本の将来推計人口によると、今後、我が国の人口は減少する見通しが示されている。  
 (イ) 2040年には、50歳の男性10人のうち約3人が未婚であると見込まれている。  
 (ウ) 1980年から1996年までは、一貫して共働き世帯よりも専業主婦世帯のほうが多かった。  
 (エ) 1990年からの30年間で75歳以上の人口は、3倍以上になっている。  
 (オ) 共働き世帯数が初めて1,000万世帯を超えたのは、東日本大震災の後である。

(基礎総合 おわり)

令和6年度 横浜創英大学 総合型選抜入学試験(第Ⅱ期)

基礎総合解答例

問題Ⅰ	(1)	②											
	(2)	1	きょうじんせい		2	りゅうちょう		3	らせん				
		4	たずさ										
	(3)	1	浪費		2	恒常性		3	研				
		4	枝葉										
(4)	⑤												
(5)	④												
問題Ⅱ	(1)	④											
	(2)	①											
	(3)	①											
	(4)	⑤											
	(5)	②											
問題Ⅲ	(1)	(ア)	E		(イ)	H		(ウ)	A		(エ)	D	
	(2)	(ア)、(イ)、(エ)											